

## 温室効果ガス排出量のとりまとめについて

本県における 2020 (令和 2 年) 年度の温室効果ガス排出量(速報値)を、以下のとおりとりまとめましたので、お知らせします。

### 1 県内排出量の部門別増減状況

2020 年度排出量は、58,750 千 t-CO<sub>2</sub> で、兵庫県地球温暖化対策推進計画の基準年度(2013 年度)比▲21.9%(前年度比▲3.1%)となり 7 年連続で減少しています。(2030 年度目標：▲48%)

[各年度の電力排出係数<sup>注</sup>による算定]

(単位：千 t-CO<sub>2</sub>)

部 門	2013(H25) 年度 排出量	2019(R1)年度(確定値)			2020(R2)年度(速報値) <sup>※1</sup>				
		排出量	【構成比】 (%)	13 年度比 <sup>※2</sup> (%)	排出量	【構成比】 (%)	13 年度比 <sup>※2</sup> (%)	前年度比 <sup>※3</sup> (%)	
エネルギー起源 二酸化炭素	産業 <sup>※4</sup>	47,952	39,552	【65.2】	▲ 17.5	38,254	【65.1】	▲ 20.2	▲ 3.3
	業務	6,815	4,359	【7.2】	▲ 36.0	4,396	【7.5】	▲ 35.5	0.8
	家庭	8,364	5,674	【9.4】	▲ 32.2	5,887	【10.0】	▲ 29.6	3.7
	運輸	8,128	7,223	【11.9】	▲ 11.1	6,486	【11.0】	▲ 20.2	▲ 10.2
その他 <sup>※5</sup>	3,923	3,850	【6.3】	▲ 1.9	3,727	【6.3】	▲ 5.0	▲ 3.2	
排出量 <sup>※6</sup>	75,182	60,658	【100】	▲ 19.3	58,750	【100】	▲ 21.9	▲ 3.1	

※1 国、県等の統計データの確定を受け、値を変更することがある。

※2 13 年度比(%) = (当該年度排出量 - 2013 年度排出量) / 2013 年度排出量 × 100 (%)

※3 前年度比(%) = (当該年度排出量 - 前年度排出量) / 前年度排出量 × 100 (%)

※4 エネルギー転換部門を含む。

※5 非エネルギー起源二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、代替フロン等

※6 四捨五入の関係で一致しない。

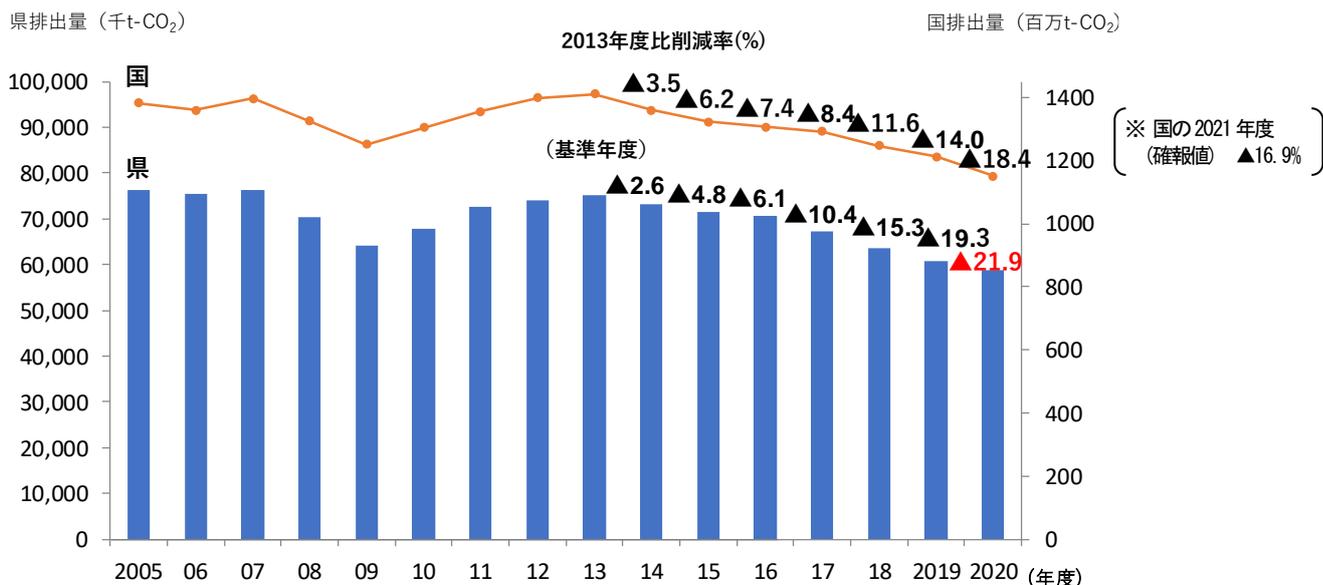
注) 電力排出係数(関西電力(株)公表値)は、2013 年度：0.516、2019 年度：0.318、2020 年度：0.350(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

### < 部門毎の増減理由 (令和 2 年度) >

- ・産業部門：生産プロセスの改善による省エネ化等が積極的に行われたことに加えて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、製造業における生産量が減少し、エネルギー消費量が減少したことなどにより、前年度比▲3.3%
- ・業務部門：照明設備の LED 化や空調設備等の高効率設備の導入が積極的に進んでいる一方、電力排出係数が上昇したことにより、前年度比+0.8%
- ・家庭部門：省エネ設備の設置など省エネの取組等が進んでいる一方、電力排出係数が上昇したことにより、前年度比+3.7%
- ・運輸部門：自動車保有台数は微増(+0.2%)する中で、自動車の燃料消費量が減少したことから、前年度比▲10.2%
- ・その他：オゾン層破壊物質(フロン類)に代わり、地球温暖化係数の高い代替フロン HFCs(CO<sub>2</sub> の 12~14,800 倍)を充填した冷凍空調機器等が依然として多く使用されていることから、当該機器等の使用時及び廃棄時の HFCs 排出量は増加した一方、廃棄物の処分量の減少等により、前年度比▲3.2%

(裏面あり)

〔県内排出量の推移と国排出量との比較〕



2 「環境の保全と創造に関する条例」に基づく対象事業所の排出量

2020(R2)年度の条例対象<sup>※1</sup>1,003事業所の排出量は28,818千t-CO<sub>2</sub>で、2013年度比▲23.9%となりました。また、2021(R3)年度の排出量(速報値)は、30,454千t-CO<sub>2</sub>(条例対象<sup>※2</sup>1361事業所<sup>※3</sup>)となりました。

- ※1 年間エネルギー使用量(原油換算)1,500kL以上の工場等  
又は、年間エネルギー使用量(原油換算)500kL以上1,500kL未満であって、大気汚染防止法第2条第2項に規定するばい煙発生施設(ボイラー、ディーゼル機関等)を設置している工場等
- ※2 年間エネルギー使用量(原油換算)1,500kL以上の工場等  
又は、大気汚染防止法第2条第2項に規定するばい煙発生施設(ボイラー、ディーゼル機関等)を設置している工場等
- ※3 令和3年7月に「環境の保全と創造に関する条例施行規則」を改正したことにより、対象事業所が拡大

(単位：千t-CO<sub>2</sub>)

部 門	2013(H25)年度		2020(R2)年度		2021(R3)年度(速報値)	
	事業所数	排出量 <sup>※3</sup> (県内排出量に占める割合%)	事業所数	排出量 <sup>※3</sup> (県内排出量に占める割合%)	事業所数	排出量 <sup>※4</sup>
産 業	630	34,503 (45.9%)	622	26,329 (44.8%)	759	27,977
業 務	384	1,821 (2.4%)	339	1,331 (2.3%)	541	1,353
その他 <sup>※1</sup>	49	1,523 (2.0%)	42	1,158 (2.0%)	61	1,124
合計 <sup>※2</sup>	1,063	37,847 (50.3%)	1,003	28,818 (49.0%)	1,361	30,454
			13年度比	▲23.9%	13年度比	

- ※1 廃棄物部門等
- ※2 四捨五入の関係で一致しない
- ※3 関西電力(株)の当該年度排出係数により算出
- ※4 R3年度については、各事業所が契約している電力事業者の当該年度排出係数により算出

詳細はホームページ「ひょうごの環境」(<https://www.kankyo.pref.hyogo.lg.jp/jp/warming/>)をご覧ください。  
(「兵庫県 温暖化」で検索)